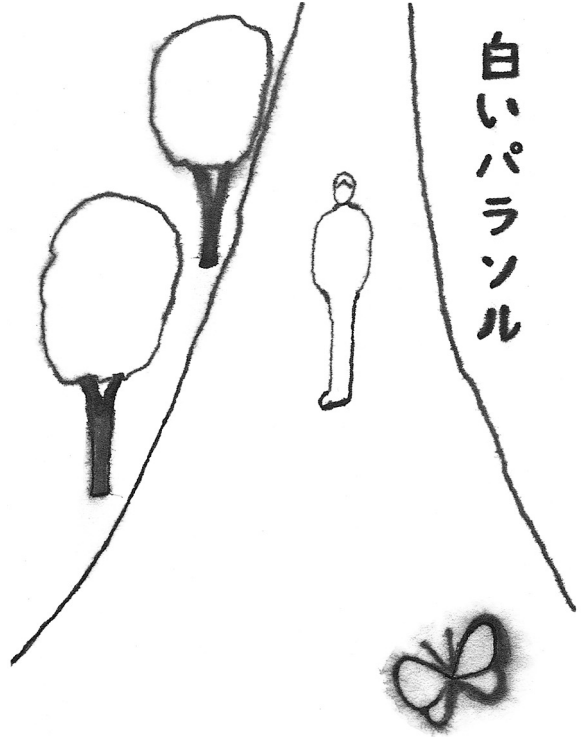


白いパラソル



となりを歩く亜実ちゃんの、左の頬をちらちら見ていたから、亜実ちゃんがくふっと吹きだした。

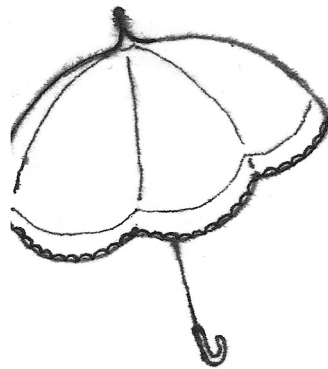
「やだ、さやちゃん。なんでさやちゃんが、そんな顔してるのよ」

「う、うん、まだ痛いのかなって……」

けさ、高瀬さんにひっぱたかれた左のほっぺた。そこにくぼっとえくぼを浮かべて、亜実ちゃんは「ありがと」とほほんだ。

香坂 直

上村奈央・絵



「もう平気だよ」

「ほんど？ ならいいけど」

小さくわらって、目を伏せる。陽射しがまぶしいってふりをして。

今日は午後から保護者会。部活もなくて、下校はお昼すぎ。夏のはじめの太陽は、わたしたち中学生にも容赦ない。でも、それに負けないくらい、亜実ちゃんはまぶしい。アイプチなんて必要ない目。